介護リフト

ミクニマイティエースII

操作取扱説明書

株式会社 ミクニ

お願い

- このリフトには精密部品、電気部品、消耗部品が使われています。定期的なメンテナンスをおすすめいたします。
- 文中に出てくる 重要 注意 は、破損やケガを未然に防ぐための記述ですので、よく読んで、必ず守っていただけるようお願いいたします。
- お読みになったあとは、お使いになる方が、いつでも見ることができる場所に保管してください。

このたびは**ミクニマイティエースⅡ**をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ミクニマイティエースⅡは身体の不自由な方が移動する際、介助の方の労力を軽減する目的で作られております。
本説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用くださるよう、お願い申し上げます。
なお、お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

目　　　次

1. 安全上の注意

★ご使用のまえに、この安全上の注意をよくお読みのうえ、正しくお使いになってください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」の２つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警　告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠ 注　意：人が傷害を負う可能性および物的損傷のみの発生が想定される内容

●絵表示について

絵表示中の「✖」はその行為を行うと重大な事故や、ケガをしたり、リフト本体が故障することを表しています。

絵表示中の「!」はその行為を行う際や、リフト本体を使用中に、状態を確認しないと重大な事故や、ケガをしたり、リフト本体が故障することを表しています。

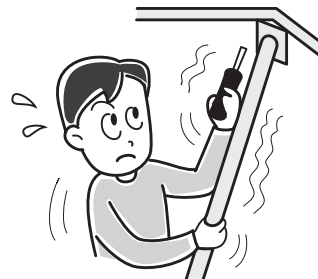
※ 本文中の **重要** **注意** の表示がある部分についても、破損やケガを未然に防ぐための記述ですので、必ずお読みください。

⚠ 警　告

● **ハンガーから吊り具を外す際、必ずベルト部の張りをたるませてから外してください。**

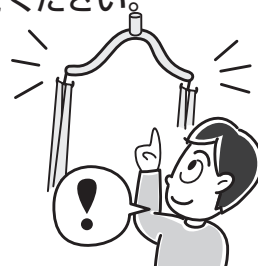
重みがかかったままで外しますと、ハンガーの片側がはね上がり、負傷する場合があります。

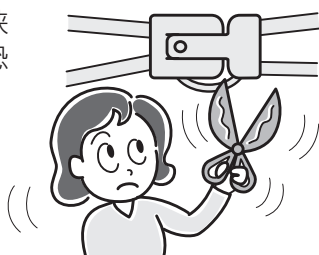
● **お客様のご都合でリフトの取り外しや再取り付けは行わないでください。**

重大な事故につながる恐れがあります。

● **ハンガー、ベルト巻き上げユニット、アームの取り付け、取り外しは、取扱説明書を参照し、正しく行ってください。**

正しく行われないと指を挟まれたり、ハンガーの落下により怪我をする恐れがあります。

● **スリングシート、シャワーチェア等吊り具が完全にかかっていることを確認のうえ、リフトの動作を行ってください。**

吊り具が外れた場合、重大な事故につながる恐れがあります。

● **アームの多関節部分のゴムカバーを外したり、切ったりしないでください。**

多関節部分に指を挟まれ、怪我をする恐れがあります。

● **リフトに乗り降りする際、飛び乗ったり、飛び下りたりしないでください。**

重大な事故につながる恐れがあります。

● **落下防止用ワイヤーを外した状態で使用しないでください。**

重大な事故につながる恐れがあります。

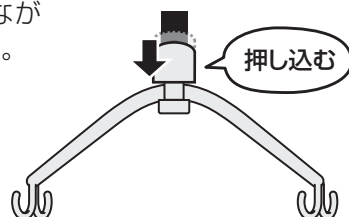
● **補助フレームやサイドフレームを外した状態で使用しないでください。**

重大な事故につながる恐れがあります。

●ベッドプレートや固定ベルトを外した状態で使用しないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

●ハンガーがハンガー連結部にしっかりと固定、連結されている状態で使用してください。

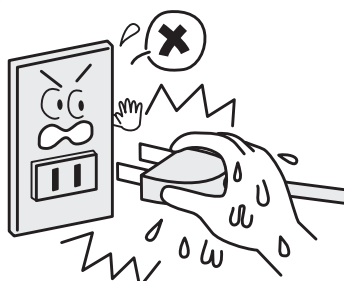
重大な事故につながる恐れがあります。

●アーム、ハンガー、固定用のパイプにぶら下がらないでください。

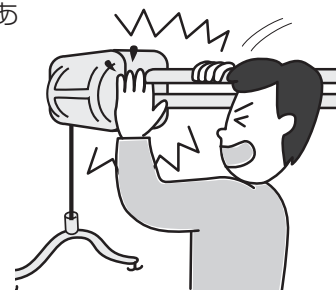
重大な事故につながる恐れがあります。

●90kg 以上の方は使用しないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

●濡れた手で電源プラグを持たないでください。

感電する恐れがあります。

●手を挟まないよう注意してください。

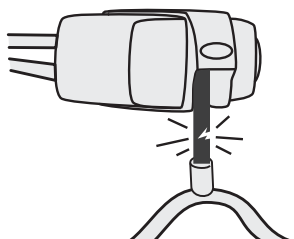
ケガをする恐れがあります。

●足を挟んだり、フレームに足をぶつけたりすることがあるので、注意してください。

ケガをする恐れがあります。

●ベルト巻き上げユニットの取り付け、取り外しは、介護される方の上では行わず、必ずアームを左右どちらかに移動させ行ってください。

ユニットが落下した場合、重大な事故につながる恐れがあります。

●ベルト巻き上げユニットのベルトがほつれたり、切れかかった場合は、使用しないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

●点検時期お知らせアラームが鳴ったら、速やかに、当社または代理店に連絡し、点検を受けてください。部品の交換が必要です。
●お知らせアラームは使用されている時間が累計で 400 時間になると鳴ります。

そのまま使用を続けると重大な事故につながる恐れがあります。

●リフトの取り付け部、アームなどの変形、ゆるみ、ガタなどの異常がある場合、使用しないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

●ベルト巻き上げユニットのベルトに酸性やアルカリ性の洗剤、漂白剤をかけたりしないでください。

ベルトの生地が破れ、重大な事故につながる恐れがあります。

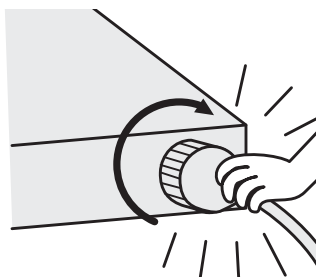
⚠ 注　意

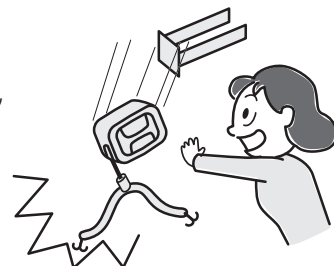
●リモコンスイッチおよびコードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、叩いたりしないでください。

破損し、動作しなくなることがあります。

●コードは、挟んだり、引っ張ったりしないでください。

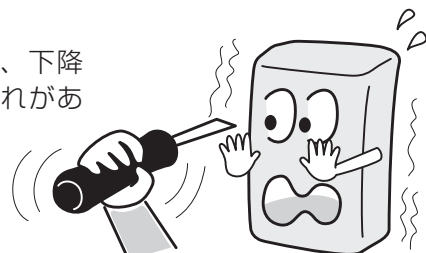
●プラグの差し込みは確実に行ってください。

機器が正常に作動しなくなったり、電気がショートする恐れがあります。

●リモコンスイッチ・ベルト巻き上げユニット・電源ユニットなどは、大切に扱ってください。

機器が正常に動作しなくなる恐れがあります。

●アーム、ハンガーを横移動する時は、周囲に気をつけてください。

不用意に横移動するとケガをしたり、壁や扉を破損することがあります。

●ベルト巻き上げユニット、リモコンスイッチ、電源ユニットなどは分解をしないでください。

リフトが上昇、下降しなくなる恐れがあります。

●アラーム音がなった場合は、この取扱説明書の「アラーム音がなった場合」をよく読んでください。

●リフトを上昇または下降させるとき

(1) ベルトをたるませた状態で操作しないでください。

(2) ハンガーを外したままの状態で操作しないでください。

リフトが誤作動する恐れがあります。

●高温の車内に放置したり、暖房器具のふき出し口付近に保管したりしないでください。

ケースが熱で変形する恐れがあります。

●ベルト巻き上げユニットに直接水をかけないでください。

ケース内に水が入り、リフトが動かなくなる恐れがあります。

2. 各部の名称と機能

A. ベッドサイドフレームタイプ

ベッドでの使用に適しています。

❶ メインフレーム

アームおよびベルト巻き上げユニットを支えるフレームです。ベッド頭側に設置します。

❷ サイドフレーム

メインフレームの一部でベッドの下側に平行に設置します。

❸ 補助フレーム

体重がかかったときの転倒防止用のフレームです。

重要 **リフトを使用するときには必ず取り付けてください。**

❹ レベルアジャスター

フレーム全体の傾きを調整します。4ヶ所に設置されています。

❺ 角度制限解除ノブ

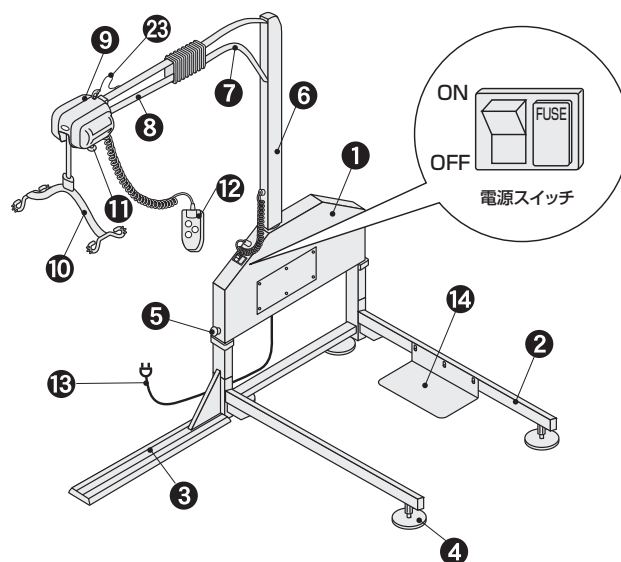
安全上からアームの作動範囲を30°に制限してありますが、これを解除するためのノブです。
解除する場合には、ノブを引っ張り、アームを制限範囲内より外に持っていきます。
アームを制限範囲内に戻すと、自動的に制限がかかります。

重要 **リフトを使用中にはノブには絶対にさわらないでください。**

❻ アームパイプ

アームが固定され、この部分が回転します。上に引き上げれば外すこともできます。

❼ ❽ 第一アーム・第二アーム

横移動するためのアームです。中間に関節があり、自由に折れ曲がります。

❾ ベルト巻き上げユニット

モーターおよびベルトが入っており、この部分でハンガーおよび吊具を上下させます。
90°上方に取手部分を持ち上げれば取り外すこともできます。

重要 **取り付け、取り外しの際、介護される方の上部で行わないでください。**

注意 **使用時には確実に装着されている事を確認してください。**
使用時には㉔の落下防止ワイヤーを必ず本体ユニットにつなげてください。

❿ ハンガー

吊具を取り付けるためのものです。ベルト部分より取り外すこともできます。

注意 **使用時には確実に装着されていることを確認してください。**

⓫ ブレーキ解除ワイヤー

電源スイッチを切り、このワイヤーを引っ張ると、内部のブレーキが解除され、ゆっくりと下降します。

重要 **通常のリモコン操作で動かなくなったときに使用します。ワイヤーを引っ張っている間のみ下降します。**

重要 **介護される方の体重によっては、下降しない場合があります。その場合は、介助者がハンガー部分に体重をかけるように下に引くと、ゆっくり下降します。**

⓬ リモコンスイッチ

ハンガーを上下させるときに使用する、押しボタンスイッチです。

⓭ 電源コンセントプラグ

コンセントに差し込みます。

⓮ ベッドプレート

ベッドの足をこの板の上に乗せ、ベッドの重さでリフトの安定を向上させるものです。

B. 支柱固定タイプ

ベッド以外の場所で固定する柱がない場合の使用に適しています。

⑮ 電源灯

使用中は常に緑が点灯します。

⑯ AC/DC 電源

家庭用コンセントに差し込んで、コネクターケーブルを⑰のコネクターにつなぎ、使用します。

注意 **コンセントを入れる前にコネクターを接続してください。使用後は必ず電源スイッチを“切”にしてください。**

注意 **屋外で使用される場合には、雨がかからない場所に置いてください。なお、使用後は外して屋内で保管してください。**

⑰ 電源接続コネクター

AC アダプターから出ているコネクターをこれにつなぎます。

⑱ ゴムブーツ

リフト全体の位置を固定し、安定させる役目をします。

⑲ ジョイント

アームを設置用柱に高さを合わせて固定します。ヒンジの役目もします。

⑳ 取り付け部品

リフト全体を壁、柱などに固定する役目をします。
この部品は、取り付ける部分の状態により形状が変ります。

㉑ 第一アーム

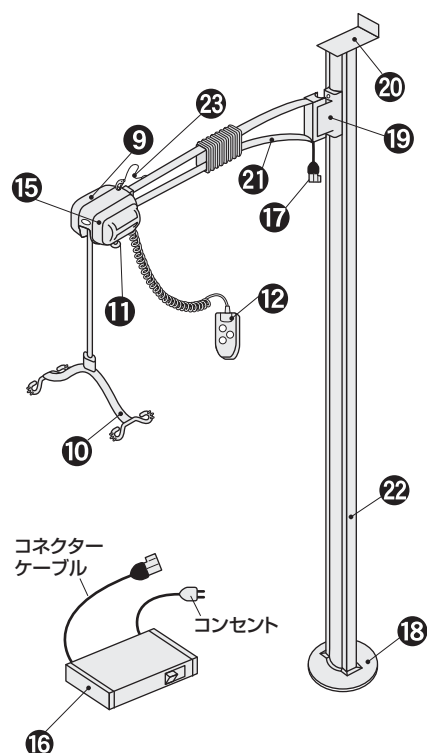
横移動するためのアームです。中間に関節があり、自由に折れ曲がります。
ジョイントとの接続の部分より簡単に取り外すことができます。

注意 **使用時には、確実に装着されていることを確認してください。**

㉒ 設置用柱

ゴムブーツと取付部品で固定される柱です。
アームを取り付ける高さを自由に変えられるように縦に溝が入っています。

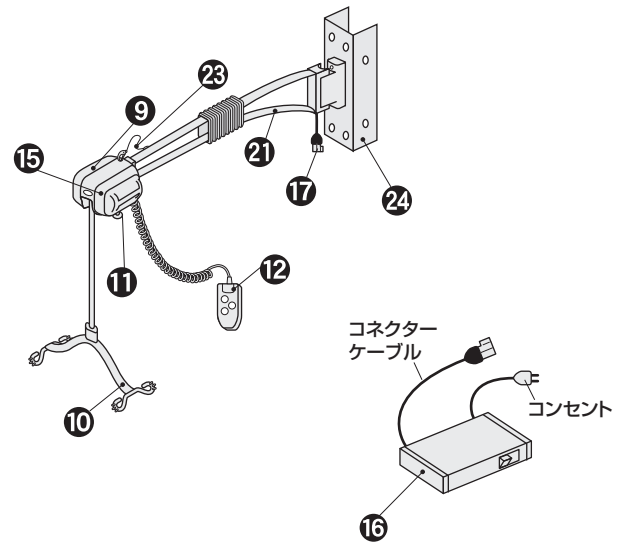
㉓ 落下防止ワイヤー

ユニット脱着時に誤って落とさないようにアームとユニットをつなぐワイヤーです。
先端のフックをユニットについているブラケットにつなげておきます。

C. ブラケット固定タイプ

ベッド以外の場所で固定する柱がある場合の使用に適しています。

㉔ ブラケット

アームおよびユニットを、直接建物の柱に固定するための部品です。ジョイントが付属しており、アームを取り外すことができます。取り付ける部分の状態により形状が変ります。

注意 **使用時には、確実に装着されていることを確認してください。**

3. 操作取り扱い

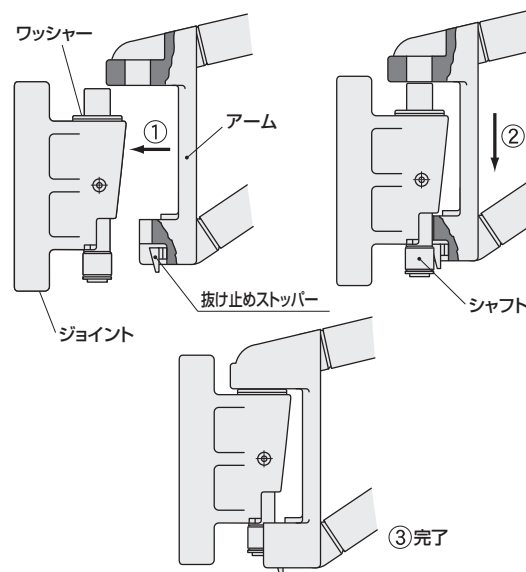
A. 使用準備

① アームを取り付ける

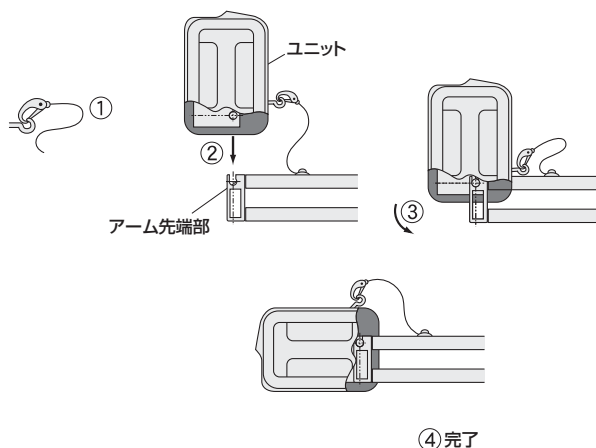
支柱固定タイプ、ブラケット固定タイプについてはアームを取り外すことができます。
ここでは、ジョイント部にアームを取り付ける方法を説明します。

ジョイントに対し、アームを正面からまっすぐにシャフトに当たるまで差し込み、アームに開いている穴をシャフトに合わせながら、下方にずらしていきます。抜け止めストッパーが“カチッ”といってシャフトにかかれば完了です。

その後、アームがスムーズに動く事を確認してください。

樹脂製のスラストワッシャーが2枚シャフトに入っています。着脱の際、なくさないように注意してください。

② ベルト巻き上げユニットを取り付ける

全タイプ共通で、ユニットを取り外すことができます。
ここでは、ユニットの取り付け方法を説明します。

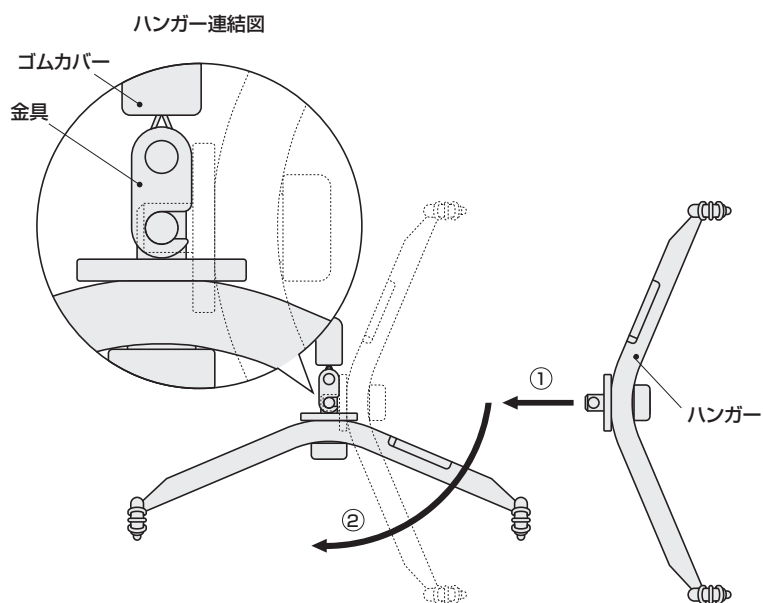
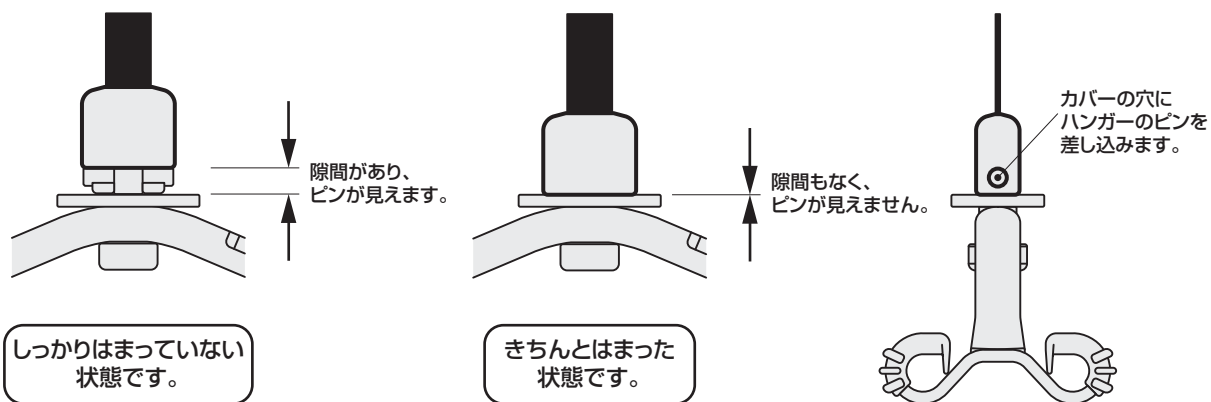
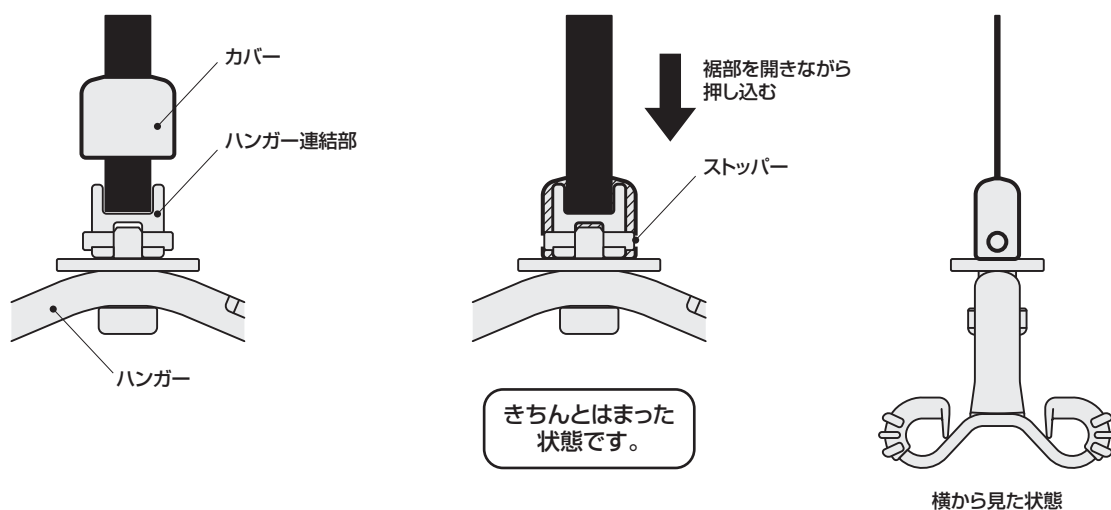
落下防止のため、落下防止ワイヤーのフックをユニットに付いているブラケットに引っかけます。ユニットを図のように縦向きにしてアーム先端の溝部にピンを差し込み、突き当ったら90°回し、横に向けます。このような状態になると、外れなくなり、同時に通電して使用できるようになります。

取り付ける際は、介護される方の上部では行わず、必ず左右どちらかにアームを動かして行ってください。
落下防止ワイヤーを必ず装着のうえ、使用してください。

リモコンスイッチのケーブルを引っ張らないように着脱してください。

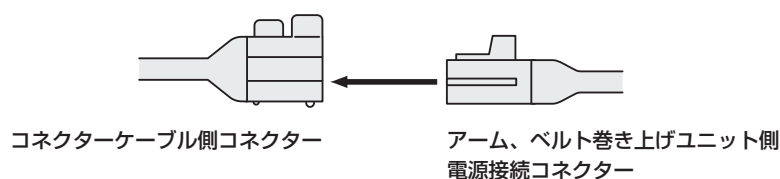
③ ハンガーを取り付ける

全タイプ共通で、ハンガーを取り外すことができます。
ここでは、ハンガーの取り付け方法を説明します。

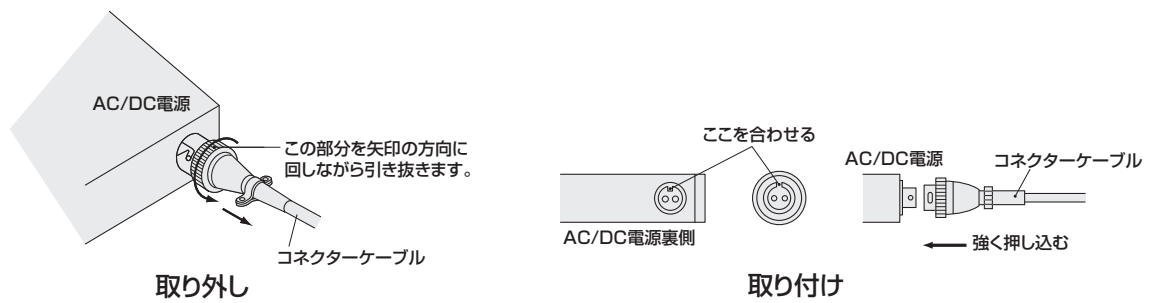
ベルト先端部にゴム製のカバーがついています。カバーを上に持ち上げると中からハンガーを取り付けるハンガー連結部が出てきます。
ハンガーを図のように横向きにして、ハンガー連結部の溝部にヒンジを差し込み、つき当ったら90°回して、下に向けます。このような状態になると、外れなくなります。

注意 その後、ハンガーがスムーズに動くことを確認してください。

ハンガー連結部のカバーをしっかり下まで下げてご使用ください。また、使用中でも、吊り上げる際には、十分に確認しながら使用していただきますようお願いいたします。

カバー内部には、図のようなストッパーが付いています。
ここで一度、止まりますが、カバーの横を広げ、ハンガーのピンをつつむようにして、さらに押し込むと、右下図の状態でストッパーが効いた状態になります。

注意 ゴムカバーが確実に下まで下がっていることを確認してください。

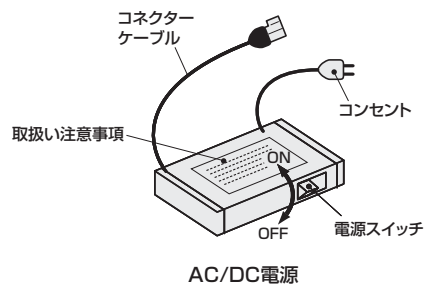
④ 電源接続コネクターを接続する

それぞれのタイプの電源接続コネクターの場所は、各部の名称と機能を参照してください。
AC/DC 電源より出ているコネクターケーブルを電源接続コネクターにつなぎます。

コネクターケーブルについているコネクターをアームおよびユニット側の電源接続コネクターへ“カチッ”と音がするまで差し込みます。

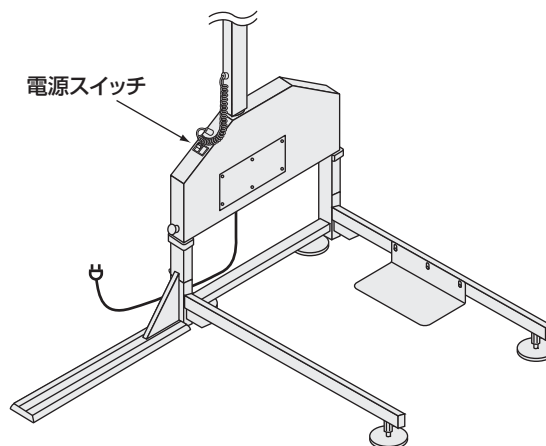
注意 AC/DC 電源のコンセントを抜いた状態でコネクターを接続してください。

☆ AC/DC 電源に付属しているコネクターケーブルは、取り外しが可能です。取り付けは 2 つの穴と溝を合わせ強く押し込みます。取り外しは、矢印の方向に回しながら引き抜きます。

⑤ AC/DC 電源の電源を入れる

AC/DC 電源を使用する場合には AC/DC 電源のコンセントを差し込み、電源スイッチを入れると、スイッチが点灯し、リフト使用可能な状態になります。

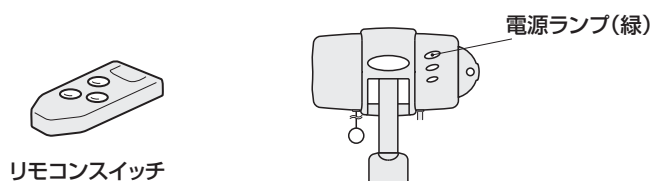
注意 AC/DC 電源に貼ってある取り扱い注意事項をよく読んでからご使用ください。

⑥ ベッドサイドフレームタイプの電源を入れる

ベッドサイドフレームタイプには AC/DC 電源があらかじめ組み込まれています。
コンセントを差し込み電源スイッチを入れると、スイッチが点灯し、使用可能な状態になります。

注意 取り扱い注意事項をよく読んでからご使用ください。

⑦ 作動確認

ベルト巻き上げユニットの前についている電源灯が緑になっていることを確認します。
通常、ハンガーがいちばん上にある状態（ベルトがいちばん短い状態）で使い終わりますので、ここからリモコンスイッチを手に取り、人を乗せないで「下」ボタンを約 5 秒間押し、ハンガーが降りてくることを確認してください。
次に「上」ボタンを押すと、ハンガーが上に上がります。ユニットの手前でハンガーは止まり、「上」ボタンを押しても動かなくなります。ここがいちばん上ですので、リモコンスイッチから手を離します。

注意 **電源灯が点灯していない場合には、電源スイッチ、ベルト巻き上げユニットの取り付け状態をもう一度確認してください。**

重要 **他に異常がなく電源灯が点灯しない場合には使用をやめ、当社または代理店にご連絡ください。**

⑧ 吊具の確認

スリングシートまたは他の吊具を準備します。詳しくは各吊具の説明書をお読みください。

重要 **吊具に傷や、ほつれのあるときは絶対に使用しないでください。**

⑨ 取り付け部の安全確認

長期間使っていなかったときや、地震のあとなどはアームを持って軽く揺すり、リフトがぐらつかないか確認してください。

重要 **異常がある場合には使用をやめ、当社または代理店にご連絡ください。**

⑩ 足元の整理

介助者の足元は、じゃまになる物を片付け、つまづかないようにしておいてください。

注意 **特にベッドサイドフレームについては転倒防止用の補助フレームがでっぱりますので、足元には十分注意してください。**

B. 操作

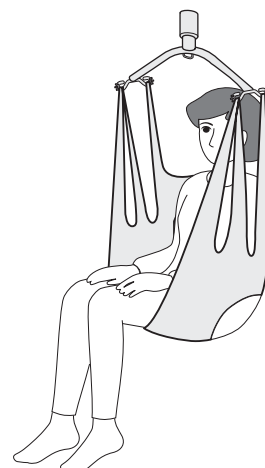
① 吊具に乗せる

介護される方を吊具に乗せます。

☆スリングシートの場合

スリングシートの取り扱い指示に従ってください。

☆他の吊具の場合

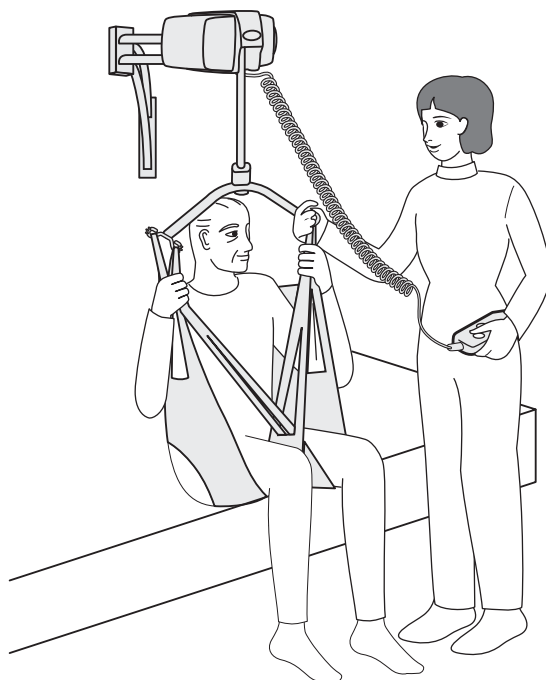
吊具の取り扱い指示に従ってください。

〈交差式〉　〈閉脚式〉

② 吊り上げる

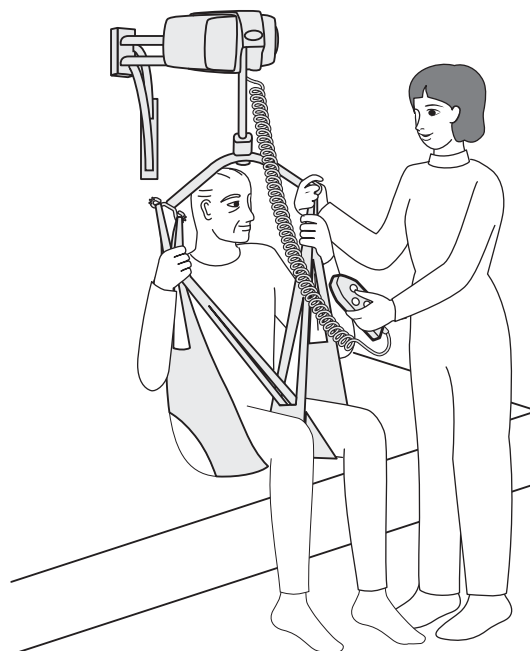
「下」ボタンを操作してハンガーを吊具がかけられる位置まで降ろし、ハンガーのフックに吊具を正しくかけます。

(1) 介助者は、片手で吊具または、介護される方を支え、片手でリモコンスイッチを持ってください。
(2) リモコンスイッチの「上」ボタンを指で押し、ハンガーを少し上昇させた状態で、フックが正しくかけられているかもう一度確認してから、介護される方を吊り上げてください。

重要 吊具のフック部分が正しくかけられていない場合、重大な事故につながりますので、必ず確認してください。

(3) 横移動する適当な高さまで上がったら､「上」ボタンから指を離してください。上昇が止まります。

③ 移動する

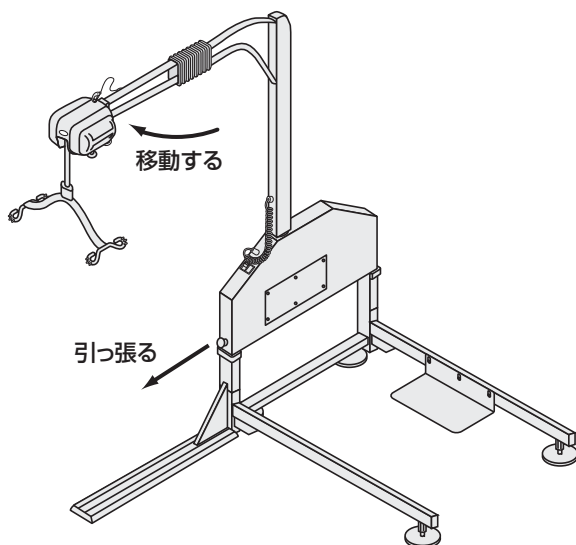
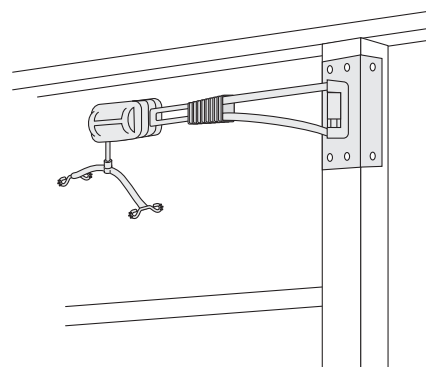
(1) 介護される方を支えながら、手で横移動させます。
(2) 移動の際は、旋回式の第一アームと第二アームを曲げ伸ばして、ドアなどの干渉物をかわし、所定の位置に移動します。
(3) 安全を確認しながらゆっくり行ってください。

・アームおよびハンガーで手などをはさまないようにしてください。
・リモコンのコードにからんだり、ふんだり、引っ張ったりしないでください。

④ 下げる

(1) 介護される方を片手で支えながら、リモコンスイッチの「下」ボタンを指で押すと、ハンガーと介護される方がゆっくり下降します。
(2) 所定の位置まで下がったら、「下」ボタンから指を離してください。下降が止まります。

⑤ もとに戻す

(1) 前記②～④の手順を使ってもとに戻します。
(2) 吊具を取り外したあとは、ハンガーをいちばん上まで上げ、後の作業のじゃまにならないようにアームを頭上より移動させます。

支柱固定タイプ、ブラケット固定タイプでは壁の方に寄せておきます。

ベッドサイドフレームタイプ

角度制限解除ノブを引っ張りながらアームを移動させ、壁側に寄せます。

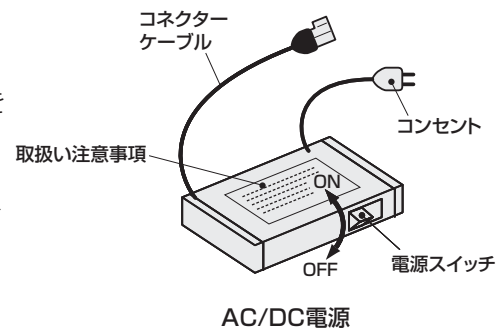
左右180°のところでストッパーが効き、アームはそれ以上移動しません。

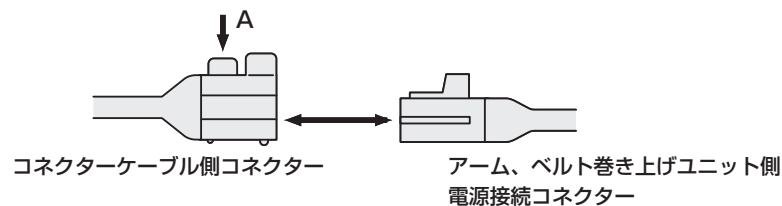
C. 後片付け

① AC/DC 電源の電源を切る

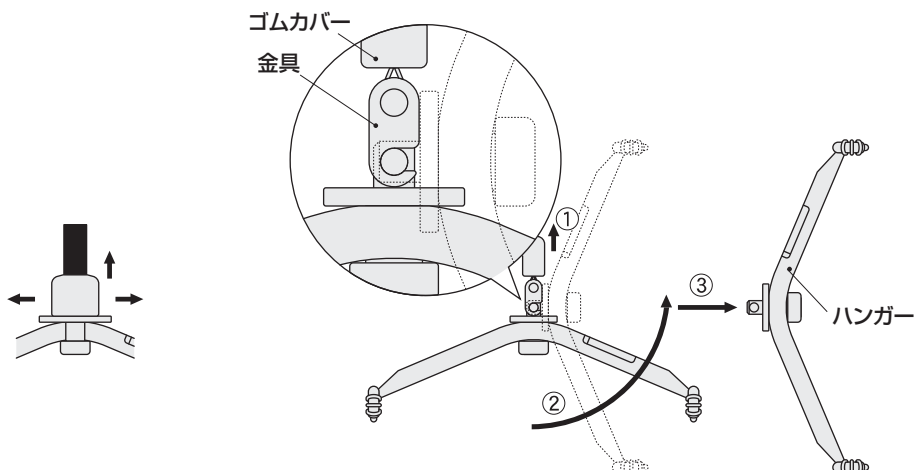
AC アダプターを使用した場合には、電源を切って保管します。
電源スイッチを切るとスイッチが消灯します。
この状態でコンセントを抜いてください。
ベッドサイドフレームタイプについても同様にして電源を切ります。

AC/DC電源

AC/DC 電源に貼ってある取り扱い注意事項をよく読んでから使用してください。

② 電源接続コネクターとコネクターケーブルを外す

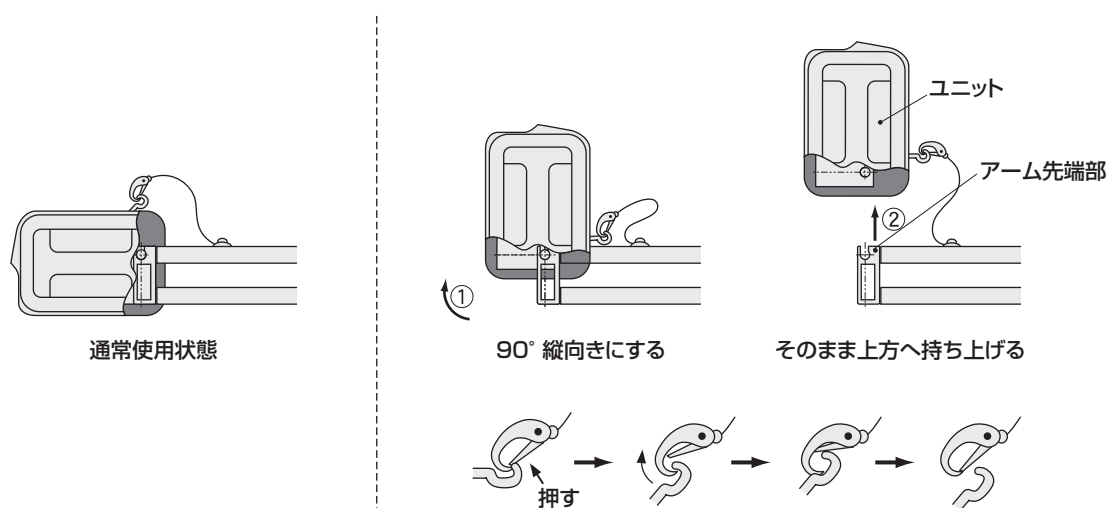
それぞれのタイプの電源接続コネクターの場所は各部の名称と機能を参照してください。
AC/DC 電源より出ているコネクターケーブルを電源接続コネクターより外します。
両方のケーブル部分を両手で持ち、図中 A の部分を指で押しながら左右に引っ張ります。

注意 AC/DC 電源のコンセントを抜いた状態でコネクターを外してください。

③ ハンガーを取り外す

ハンガーは取り付けたときと逆の手順で外します。
ゴムカバーの下方を横に広げ、ハンガーのピンを逃がしながら、ゴムカバーを持ち上げ、ハンガーを横向きにしてそのまま横方向にずらして外します。

④ ベルト巻き上げユニットを取り外す

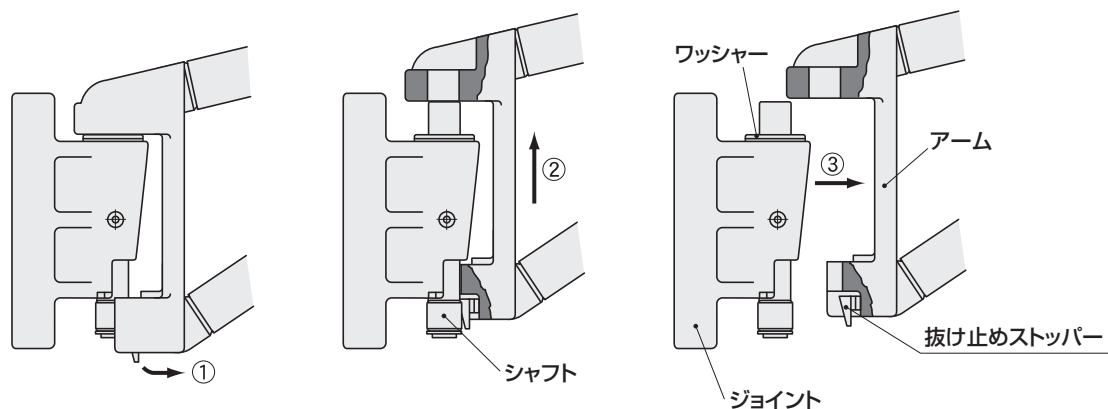
ユニットは取り付けたときと逆の手順で外します。
図のようにユニットを縦向きにしてまっすぐ上方へ持ち上げて外します。
最後に落下防止用ワイヤーを取り外します。

重要 **取り外す際は、介護される方の上部では行わず、必ず左右どちらかにアームを動かして行ってください。**

注意 **リモコンスイッチのケーブルを引っ張らないように着脱してください。**

⑤ アームを取り外す

支柱固定タイプ、ブラケット固定タイプについてはアームを取り外すことができます。
ここではジョイント部よりアームを取り外す方法を説明します。

抜け止めストッパーを矢印の方向にずらしたままアーム全体を上方に持ち上げます。アーム上側の穴からシャフトが外れたら、そのまま③の矢印の方向にアームを外します。

注意 **樹脂製のスラストワッシャーが２枚、シャフトに入っています。着脱の際、なくさないよう注意してください。**

D. 屋外での使用について

重要 **屋外でリフトを使用する場合、アーム、ユニット、ハンガー、AC/DC 電源は使用するときのみ取り付け、使用しないときにはすべて外し、屋内で保管してください。**

E. アラーム音が鳴った場合

ミクニマイティエースⅡは、さまざまな状況をお知らせするため、アラーム音が鳴る場合があります。

① リモコンの断線、確認アラーム

リモコンスイッチの「上」または「下」のボタンを押すと、1 回アラームが鳴りベルトの昇降がはじまります。このアラームが鳴らない場合はリモコンの断線が考えられますので、当社または代理店にご連絡ください。

② 過負荷の場合のお知らせ

何らかの過負荷があった場合、リモコンスイッチを押すとアラーム音が 2 回鳴り、電源灯が点滅し、動作が停止します。
再度操作する場合は、一度電源スイッチを切り、再度電源スイッチを入れてください。

注意 **再操作可能ですが、過負荷の状態のままで再度動作を行わないようにしてください。アラームが頻繁に鳴る場合には当社、または代理店にご連絡ください。**

③ 点検時期お知らせアラーム

使用されている時間が累計で 24,000 分（400 時間）になりますと、ベルト巻き上げユニットの点検時期となり、リモコンスイッチを押している間中、アラームが鳴り続けます。
この状態になりましたら、速やかに当社または代理店に連絡し、点検を受けてください。

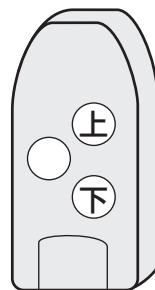
重要 **点検時期お知らせアラームが鳴ったら、速やかに点検を受けてください。**

※ 作動時間の確認の方法

リモコンのスイッチで作業時間の確認ができます。

(1) リモコンスイッチの「中間」ボタンを 5 秒間押し続けます。
アラームが鳴り止むと確認モードになります。

(2)「上」のボタンを 1 回押すと累計作動時間 2,000 分（約 33 時間）に 1 回アラームが鳴ります。最高で 24,000 分（約 400 時間）で 12 回アラームが鳴ります。
アラームが鳴らない場合は、2,000 分に達していません。

(3) アラーム音が止まったら「下」ボタンを 1 回押すと通常のモードに戻ります。

4. 日常のお手入れ

ミクニマイティエースⅡは、金属とプラスチック、ゴムを材料としています。また、リモコンスイッチやベルト巻き上げユニットなどには、電気の配線部分がありますので、使用にあたっては、下記の項目に注意してお使いください。

A. 通常のお手入れ

やわらかい布に薄めた中性洗剤を浸して汚れを取り、乾いた布で拭き取ってください。これで十分です。

(1) 強い酸やアルカリ、塩素系洗剤は使わないでください。誤ってこれらの洗剤をリフト部分にかけてしまったら、電源ユニットを外したあと、水を浸した布ですみやかに拭き取ってください。
(2) 金属等の固い物で、こすったり、たたいたりしないでください。
(3) 直接水や湯をかけて洗わないでください。特に、リモコンスイッチ、ベルト巻き上げユニット、AC/DC 電源にはかけないようにしてください。
誤って、水や湯をかけてしまったら、電源ユニットを外したあと、すみやかに乾いた布で拭き取ってください。

重要 **ベルト巻き上げユニットのベルト部に強い酸やアルカリ、漂白剤は使わないでください。**

重要 **感電する恐れがありますので、お手入れをする際は、電源ユニットを外したあとに行ってください。**

注意 **ベルト巻き上げユニットに熱湯をかけると、ユニットのプラスチックのカバーが変形する可能性があります。**

B. スリングシートおよび他の吊具のお手入れ

手洗いをおすすめしますが、洗濯機で洗う場合は、洗濯用ネットを使用してください。
洗濯時間は弱水流で 3 分、すすぎ 3 分、脱水 30 秒までにしてください。また、乾燥は日陰干しとしてください。また、詳細についてはそれぞれの吊具の取り扱い説明書に従ってください。

重要 **スリングシートや吊り具（キャリー）の布部分は消耗品です。耐用年数を超えて使わないでください。**

注意 **アイロンおよび乾燥機は使わないでください。**

C. 長期間使用しない場合

(1) AC/DC 電源を使用している場合には、電源を切りコンセントを抜いておいてください（ベッドサイドフレームタイプも同様です）。
(2) ハンガーをいちばん高い位置まで上げ、じゃまにならないように壁に寄せて保管してください。

D. ミクニマイティエースⅡの移動

引っ越し、模様がえなどでリフトの移動をお考えの場合には、当社または代理店にご一報ください。

5. トラブルの処置

A. ハンガーが上昇、下降しない場合

(1) ベルト巻き上げユニットが正常に取り付けられているか確認してください。
(2) コネクターがしっかりつながっているか確認してください。
電源灯のランプが点灯していない場合はユニットが正常に取り付けられていないことが考えられます。再度しっかりと取り付けてください。
(3) コンセントが入っているか、電源スイッチが“入”になっているかを確認してください。
(4) 上の (1)〜(3) を正常に戻しても上昇、下降しなくなった場合は、当社または代理店にご連絡ください。

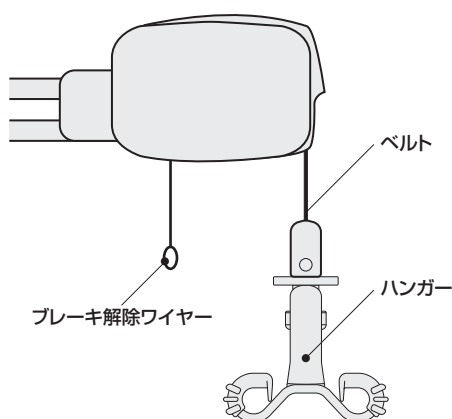
B. ベルト巻き上げユニットからベルトが出てこない場合

(1) ベルトをたるませた状態で操作を行ったとき
(2) ハンガーを未装着でリフトの操作を行ったとき

上記のような場合、ユニット本体内部でベルトがたるんで出てこないことがあります。そのときは、リモコンスイッチの「下」ボタンを押しながらハンガー取付部を引っ張るともとに戻ります。

C. スイッチのボタンから手を離してもハンガーの上下動が停止しない場合

(1)「上」「下」のボタンを交互に何回か押してください。
(2) 介護される方を D の手順に従って降ろしてください。
(3) (1) の操作を行っても、正常な動作にならない場合は、当社または代理店に連絡してください。

D. 介護される方を安全に下に降ろすには

重要 ハンガーが上方で下降しなくなった場合で、AC/DC 電源を使用中のときは、電源スイッチを切り、ベルト巻き上げユニットに付いているブレーキ解除ワイヤーを引っ張りながら、ベルトを下方に引っ張ってください。ゆっくりと下降していきます。

重要 介護される方の体重によっては、下降してこない場合があります。その場合は、介助者がハンガー部分に体重をかけるように引くと、ゆっくりと下降してきます。

重要 ハンガーが下方で上昇しなくなった場合にはただちに使用をやめ、介護される方を介助者が抱きかかえて移動させ、当社または代理店にご連絡ください。

E. その他の場合

(1) 地震などで取り付け部にゆるみが発生したとき
(2) 何らかの原因で、リフト本体やアーム、吊具等が破損したとき
(3) 作動や、外観に異常があらわれたとき
(4) ゴムブーツの接着部に剥離などの異常があったとき

以上の場合はすみやかに使用を取りやめ、当社または代理店にご連絡願います。
なお、定期点検を必ず受けていただけるよう、お願い申し上げます。

6. 危険な行為

ミクニマイティエースⅡは、操作しやすく安全度の高い介助機器ですが、誤った使い方をしますと、思わぬケガをする場合がありますので、本書に沿って正しくお使いください。
下記に列挙したような、ケガや破損につながる危険な行為は絶対しないようにしてください。

(1) アームにぶら下がって遊ぶ
(2) アームを振りまわす、強くゆさぶる
(3) 本体に強い力を与える、持ち上げる
(4) リモコンスイッチ、コードを強く引っ張る
(5) リモコンスイッチ、ユニットを水（湯）に浸す
(6) 吊具、フックおよびハンガーを、取り付け不完全状態で使用する
(7) 取り付けパイプにぶら下がったり、物を掛ける
(8) ブーツを傷つけたり、はがしたりする
(9) 点検時期を無視して使用を続ける

その他、「操作取り扱い」の項に書かれている手順に従い、注意事項をよく読んで守っていただけるよう、くれぐれもよろしくお願い申し上げます。

7. 定期点検

ミクニマイティエースⅡは万全を期して作られていますが、永く安全にお使いいただくために、当社または代理店に定期点検をお申し出ください。なお、定期点検の契約をご希望のお客様は、当社または代理店にご連絡ください。

A．点検の時期

36ヶ月（3年）に1回行ってください。
目安としては、ご家庭で1名の方が毎日お使いになった場合を考えて時期を設定しております。
施設等で複数の方がお使いになる場合（施設用も含む）には、12ヶ月（1年）に1回の点検を受けてください。
※ベルト巻き上げユニットについては、点検時期お知らせアラームにて、点検時期をお知らせします。
（累計使用時間24,000分（400時間））

B．点検項目

(1) 動作
(2) 取り付け部のゆるみ
(3) 外観
(4) リモコンスイッチ
(5) AC/DC電源
(6) ブーツ接着状態
(7) アームヒンジのガタ
(8) アーム部ゴムカバー
(9) ケーブル断線
(10) ストッパー解除ノブの作動
(11) ベルト巻き上げユニット内部のモーター作動時間

C．点検時の交換部品

(1) 巻き上げベルト
(2) アームヒンジ部ブッシュ
(3) 巻き上げユニット用モーター
(4) 巻き上げユニット用ギヤ類
(5) 巻き上げユニット用各ブッシュ類

D．費用

点検の工賃、部品代、および交通費を申し受けます。

8. 仕様

	ベッドサイドフレームタイプ	柱取付タイプ	ブラケット取付タイプ
全高（mm）	2050	2500 以内で任意	任意
昇降ストローク（mm）	1600		
昇降スピード（m ／ min）	1.9（上昇） 3.5（下降） 定格荷重 90kg 時		
第一アーム長さ（mm）	510	500、400	500、400
第二アーム長さ（mm）	300	400、300	400、300
第一関節可動域	30°	± 110°	± 110°
第二関節可動域	± 120°		
第三関節可動域（ハンガー部）	360°		
ハンガー肩巾（mm）	450		
最大吊り重量	90kg		
電源	AC100V 電源		
消費電力（W）	120（AC100V）		
ベルト巻き上げユニット重量	7kg		
アーム重量（第一アーム＋第二アーム）	6kg		

発　行　者

ミクニマイティエースⅡ　操作取扱説明書

発行年月日　　2011 年 3 月

発　行　者　　株式会社 ミクニ

東京都千代田区外神田6丁目 13 番 11 号　ミクニビル

ご質問または不明な点は、フリーダイヤル

0120-392-294

へご連絡ください。

株式会社 コンシューマ事業部

シニアプロダクツグループ（東京）
〒101-0021　東京都千代田区外神田6丁目13番11号
電話　東京　03（3833）9548番（代表）

シニアプロダクツグループ（小田原）
〒250-0055　神奈川県小田原市久野2480
電話　小田原　0465（35）8431番（代表）